

耐環境 無線デジタル仕分けシステム 導入事例紹介

～ フレキシブルな無線仕分け設備採用で、冷凍庫内での作業への負担を大幅に軽減！～

業種	3PL・総合物流業
取り扱い商材	各種冷凍食品・アイスクリーム、他
出荷先件数/日	200～250件
出荷アイテム数	約150アイテム

システム導入の背景

人手不足による『人件費負担増』への対策

冷凍庫内(マイナス25℃)環境といった極寒環境下での作業であることに加えて、紙リスト等を用いた手作業を行っていることによる『作業の特殊性』があり、適切な人員を割高な賃金で確保しなければならなかった。この『特殊性』を排除し、作業を単純(標準)化できれば、人件費を削減できると考えた。

『労働安全衛生法』の順守

法令に則った休憩の付与等、作業員に対する適切な労務環境を確保するためには、庫内作業時間の短縮が急務であったが、紙リスト仕分けに於ける効率化の追求は、もはや限界(やり尽くし)に達していた。

ビジネス拡大への対策

食品品質維持の観点から、冷凍品をチルド帯で仕分けることへの荷主の反発が高まる中、冷凍庫内仕分け設備を、いち早く完備することで、荷主の満足度アップと、3PL事業者としての訴求力アップを図りたかった。

ご提案

■ 可動ラック併用型冷凍無線DAS(種蒔きシステム)



冷凍庫内では通常、固定設備を設置することが環境的にも費用的にも困難です。弊社タカハタ電子の耐環境無線表示器を用いることで、今回のような冷凍庫内といった極寒環境に於いても、無線式のフレキシブルな点を活かした『作業時のみ仕分け設備を持ち込む』という発想で、固定設備のような大規模な改修工事も必要なく、短期間でのシステム化移行が果たされました。

仕分け方式はDAS(種蒔き方式)を採用頂くことで、紙リストの廃止はもちろん、デジタル化による『作業スピードアップ』と『仕分け精度向上』、更には、作業の標準化、『誰でも即戦力』をご導入後直ちに実現されています。

導入効果

課題	導入後効果
人手不足による「人件費負担増」への対策	作業の特殊性や暗黙知を排除し、作業の標準化が実現されたことで、スキルに縛られない幅広い人材募集が可能となった。外国人労働者の雇用も可能で、人件費(時給)抑制に大きな効果を発揮した。
『労働安全衛生法』の順守	デジタル化により、作業時間が大幅に削減されたことは元より、作業進捗がリアルタイムに掴めることで、作業員の休憩等労務管理が計画的かつ、十分に行えるようになった。
ビジネス拡大への対策	この仕組みを有することが、品質、生産性両面に於ける荷主への大きな訴求ポイントとなっている。

その他活用事例

常温～F1級(-25℃)冷凍環境までをカバーする耐環境性能と、カゴ車やオリコン、クレート等の様々な仕分け資材にマッチする各種表示器固定ブラケットを用いることで、物流現場に於ける様々な仕分け用途に対応します。

■標準的なカゴ車仕分けへの適用例



■特殊可動ラックを用いた適用例



■中量ラック等にも容易に装着可能



■保冷対応カゴ車仕分けにも適用可能



■パレット等を用いたケース品仕分け



■その他、様々な仕分け要件に対応



お問い合わせ先:

開発・製造・販売:  株式会社 **高橋電子**